【改訂版】いじめ早期発見のための気づきリスト（学校用）

（本気づきリストの活用例）

　・　個別面談や長期休業明け、子どもの様子が気になった時に、担任等が子どもの変化を具体的に把握するために使用

　・　定期的に子どもの様子を確認し、記録として残すことで兆候を把握

　　　　　　　　　　　　　　　対象児童生徒名：

　　　　　　　　　　　　　　　記入日：　　　　年　　　月　　　日（　　　）

子どもの様子

【学校生活】

　□　遅刻や早退、欠席が増えた

　□　体調不良を訴えて保健室に行くことが増えた

　□　授業中に寝るなど集中していないことが増えたり、成績が下がったりした

　□　忘れ物をしたり、物を失くすことが増えた

　□　昼食を食べなかったり、残したりしている

　□　部活動を休んだり「やめたい」と言ったり、「進路変更したい」と言ったり

する

【友人関係】

　□　一緒に過ごす友人が変わった

　□　休み時間に１人で過ごすことが増えた

　□　周囲の人の様子を気にするようになった

【本人の様子】

　□　落ち込んだり、はしゃいだり、感情の起伏が激しくなった

　□　何かと教職員に寄ってくるようになった

　□　頻繁に持ち物が替わるようになった

　□　スマートフォンやＳＮＳをひどく気にするようになった

　□　服が汚れていたり、理由のはっきりしないあざや擦り傷があったりする

【その他気になること】

　例：過去に受けた友人からの嫌な言葉や行為を思い出し、心身の不調を訴えるようになった。など

子どもの様子が気になったら

１．学校内で共有し、様々な立場の教職員が本人の様子を丁寧に観察する。

２．本人の様子を保護者に伝え、家庭でも見守りを依頼して状況を共有する。

３．本人との面談を行い、悩みや不安、いじめについて聞き取って確認する。

４．本人との信頼関係保持に配慮しつつ、面談の様子について保護者と共有する。５．面談等でいじめの被害申告があったり、いじめの情報を得たりした場合には、

原則として、その日のうちに校長と関係教職員が情報共有し、当面の対応を決

定して直ちに取り組む。

　※なお、本リストは、虐待や抑うつ状態の兆候とも重複する可能性があります。